

浦添市歌

作詞：西 平 守 功(にしひら しめこう)
作曲：城 間 繁 編曲：寺 岡 真 三

1. 浦添城址 天高く
見よ躍進の 陽はのぼる
新生の意気 はつらつと
ああこの希望 この息吹き
明るく伸びる 浦添市 浦添市
2. 豊かな恵み 地にあふれ
見よ創造の 花ひらく
平和の風も さわやかに
ああこの若さ この力
生みなぎる 浦添市 浦添市
3. 歴史うけつぎ 人なごみ
見よ栄光の 虹かおる
文化と自治は ゆるぎなく
ああこの行手 この誇り
永久に栄える 浦添市 浦添市

昭和49年11月7日制定

浦添市市制施行50周年記念歌

夢をつなごうていだのこ

作詞・作曲・歌唱：下地 なを美
編曲：照屋 岳史

1. 晴れわたる 浦添の空
どこまでも 夢は広がる
先人が築いた この街の礎を
ああ ていだのこ 誇り高く
夢をつなごう 明るい未来へ
2. 花は咲く 浦添の丘
緑光る ぼくらのこの街
手と手をつなごう 輪になり力になる
ああ ていだのこ 誇り高く
明日をつくろう 明るい未来を

記念歌紹介

現在神森小学校で音楽教師として教鞭をとられる下地なを美先生のご協力を得て、浦添市の未来を描いた新しい歌が誕生しました。この歌は、市内小中学生が未来の浦添市について考えた作文をモチーフに、作詞・作曲されたものです。タイトルは市内小中学生からの公募を行い、歌詞に託された思いをよりの確に表現しているとして、「夢をつなごうていだのこ」に決定しました。



下 地 なを美

沖縄県平和記念資料館主催「第3回人権グランプリコンテスト」準グランプリを受賞した「つながるいのち」を作詞作曲された経歴をお持ちで、現在神森小学校で音楽教師として教鞭をとられています。

那覇教育の日のテーマ曲「はばたけ!那覇の子」(作曲)、那覇市立天久小学校校歌(作曲)の他、「沖縄から平和のうたを」(作詞作曲)と上記の「つながるいのち」は、県内の学校現場で幅広く歌われている。



照 屋 岳 史

沖縄県立芸術大学大学院修了。近年は沖縄民謡やわらべうたの編曲活動を通して、その保存と普及に積極的に取り組んでいる。沖縄戦終結70年南風原町平和祈念事業において、委嘱作品「記憶のこだま」を発表。



収録風景

場所:カーミージー



50年の時を越え、一歩また未来へ、浦添市



浦添市市制施行50周年

記念式典

- 日時：令和2年10月6日(火)
開場／午後1時 開始／午後2時
- 会場：アイム・ユニバースてだこホール(大ホール)



浦添市



浦添の記憶 写真で見る今と昔

1970年7月1日に市に昇格した浦添市は2020年7月1日に市制施行50周年を迎えました。
市昇格当初約4万2千人だった人口は現在約11万人となり、
市民の皆さんとともに歩む中で、さまざまな発展を遂げてきた浦添市。
この50周年という大きな節目に、これまでの歩みを振り返るとともに、
また一歩未来へ進んでいくための機会にしませんか。

【国道58号線 城間 オリオン会館前】



【城間通り】



【大平インターチェンジ】



【国道58号線
元和光ビルから城間方面を望む】



【浦添大公園展望台から牧港方面を望む】



【安波茶から
市役所方面を望む】



式次第

1. 開式の辞 浦添市副市長 大城 千栄美
2. 市歌斉唱 (独唱) 下地 なを美 (ピアノ演奏) 照屋 岳史
3. 式辞 浦添市長 松本 哲治
4. 挨拶 浦添市議会議長 護得久 朝文
5. 来賓祝辞 沖縄県知事 玉城 デニー
6. 祝電披露
7. 友好都市メッセージ 泉州市(中国 福建省)、蒲郡市(愛知県)
8. 表彰 各部門代表者
9. 受賞者代表謝辞 西村 聡
10. 閉式の辞 浦添市教育委員会教育長 當間 正和

浦添市5つの政策

“てだこの都市・浦添”

それは、私たちのめざす
理想の都市像です。

私たちは、“てだこの都市・浦添”を実現していくため、
2011(平成23)年度～2020(令和2)年度までに、
「太陽とみどりにあふれた国際性ゆたかな文化都市」の
まちづくりに取り組みます。
後期基本計画では、第四次浦添市総合計画・基本構想に掲げられた
基本理念、都市像、まちづくりの目標の実現に向けて、
次のような政策・施策の体系を構築します。

- 1 希望と活力にあふれた生活創造都市
～新たな魅力の創造と市民生活を支えるまち～
- 2 世界へ翼を広げる交流文化都市
～豊かな心と人を育むまち～
- 3 ともに支え合う健康福祉都市
～心がかよい、夢がつながるいたわりのまち～
- 4 安全安心でやすらぎにみちた快適環境都市
～自然と共生するやさしいまち～
- 5 ひと・まち・未来が輝く市民協働都市
～みんなでつくるてだこのまち～



挨拶
浦添市議会議長
護得久 朝文

市制施行50周年を迎えるにあたり、浦添市議会を代表してご挨拶を申し上げます。

わが浦添市は、「太陽とみどりにあふれた国際性豊かな文化都市」の実現を目標に、人口の増加や産業・経済の進展に対応した都市基盤の整備により大きく成長してまいりました。

近年は、沖縄都市モノレール延長区間の開業や交通結節のインフラ整備により市内外はもとより県外さらには国外の皆様が行きかう街へと移り変わり、一層の飛躍・発展が期待されております。

これもひとえに、市民の皆様のご理解とご協力、国や県をはじめとする関係各位のご指導、ご支援の賜物であり、心から感謝申し上げます。

本市議会におきましては、50周年の節目を契機として更なる努力を傾注し、今後も全議員が議会活動を通じてよりよい浦添市、よりよい市民福祉の実現に向かって邁進してまいります。

結びに、浦添市の益々の発展と、市民の皆様のご健勝、ご多幸を心から祈念申し上げまして、ごあいさつとさせていただきます。



式辞
浦添市長
松本 哲治

浦添市は1970年7月1日に村から市へ昇格し、この度50周年を迎えました。

市民の皆様と共にこの大きな節目を迎えることができたことは、喜びに堪えません。

また、これまで浦添市を支えていただいた全ての皆様に、この場をお借りして心から感謝申し上げます。

さて、琉球王国の発祥の地と言われるここ浦添は、市民の心の拠り所である浦添グスクをはじめ、歴史と文化が薫るまちとして、先人たちが築き、育てられました。

このような歴史を背景とし、本市はこれまで「太陽とみどりにあふれた国際性豊かな文化都市」を目指して、市民並びに各種団体や各企業の皆様と一緒にまちづくりを展開し、都市基盤、福祉、子育て、教育、産業など、各分野において時代に即した快適な環境を整え、今日の魅力溢れる浦添へと発展しております。

そして、浦添は様々な分野において、まだまだ多くの可能性を秘めております。これまで先人が築いてきた市内各地の魅力を十分に活かしながら、更に輝く「てだこのまち」となるよう全力で市政運営に取り組んでまいりますので、市民の皆様をはじめ、関係団体並びに企業の皆様には、引き続きお力添えを賜りますよう、お願い申し上げます。

50年の時を超え、一歩また未来へ、浦添市はこれからも市民と共に歩んでまいります。



祝辞
沖縄県知事
玉城 デニー

はいさい ぐすーよー ちゅーうがなびら

浦添市が市制50周年の輝かしい節目の年を迎えられたことを、心からお祝い申し上げます。

浦添市は、古き時代には、東シナ海を臨むその地理的好条件を活かし、琉球史上初めて中国（明）との交易を始めるなど、琉球王国発祥の地とされ、誇り高い歴史と文化を有する街です。

昭和45年の市制施行以来、歴代の市長をはじめ市議会議員や市民の皆様のためまぬ御努力により、現在では、人口11万5千人余を有する沖縄県の主要都市のひとつとして、着実な発展を遂げております。

さらに、昨年10月には、沖縄都市モノレールの首里・てだこ浦西間が延伸開業し、駅周辺や沿線の魅力あるまちづくりや、伝統・文化・産業の新たな交流拠点として期待される西海岸地区の開発など、地域資源を活かした各種施策を推進されており、「てだこの都市（まち）・浦添」として、今後ますます飛躍を遂げられるものと確信しております。

沖縄県としましては、これまでの沖縄振興の取り組みを、「新時代沖縄」に向け、さらに力強く加速させ、新たな時代に対応した沖縄振興として発展させるべく、浦添市の皆様とも連携を図りながら、諸施策に取り組んでいく所存です。

浦添市におかれましては、今後とも、沖縄県の更なる発展に向けて一層のお力添えを賜りますようお願い申し上げます。

結びに、浦添市の限らない御発展と皆様の御健勝・御活躍を祈念申し上げ、お祝いの言葉といたします。



「無限に進展する平和郷」浦添市を象徴
無限に発展する意はウの字突出部で表現、平和はウラソエの4文字を円形（円満即ち平和の意）に図案化して表現。

浦添市民憲章

（昭和57年12月11日制定）

わたくしたちは、古い歴史と新しい希望にみちた、
てだこの都市・浦添の市民として、
この憲章を定め誇りをもってその実践につとめます。

1. わたくしたちは、自然を愛し、みどり豊かなまちをつくります。
1. わたくしたちは、きまりを守り、住みよいまちをつくります。
1. わたくしたちは、働く喜びをもち、活気にみちたまちをつくります。
1. わたくしたちは、平和を愛し、文化の香り高いまちをつくります。
1. わたくしたちは、心と体をきたえ、明るく健康なまちをつくります。



市民の花

オオバナアリアケカズラ

南米原産でキョウチクトウ科に属するツル性の植物で4月～10月の約半年間、開花します。鮮やかな黄色の花を咲かせ別名ゴールデンカップと呼ばれています。



市民の花木

オオゴチョウ

西インド諸島が原産でサンダンカやデイゴと共に琉球三大名花とされています。方言で「アコウサ」と呼ばれ、2～3メートルの高さに成長し、6月～11月に赤と黄色のストライプの花を咲かせます。とても栽培しやすい花木です。



市民の木

ホルトノキ

方言では「ターラシ」又は「ターラサー」と呼ばれ、沖縄本島では古来から「カリーの木（おめでたい木）」として知られています。

市制施行50周年記念被表彰者

■功労表彰

4名	久場兼政	知念シゲ子	比嘉讓治	吉村清
----	------	-------	------	-----

■善行表彰

地域行政部門 11名	伊志嶺善三	神山高成	喜名京子	崎原和枝
	新城洋子	末吉建作	名嘉山兼正	名渡山恵子
	前津榮健	松田道子	宮城篤正	

教育部門 10名 1団体	安和良昭	小禄隆	金城田雄	具志進
	護得久朝文	城間剛	友利寛朝	仲座スガ子
	銘苅武	與那嶺徳雄	浦添市てだこ学園大学院	

スポーツ部門 26名	石川晴祥	上原博	大濱英二郎	大嶺智江
	親富祖善信	垣花泰彦	川島やす子	川畑和弘
	川畑義弥	金城榮喜	金城安信	古波藏正一
	下地春重	平良慶孝	澤岷勝雄	立津ハツエ
	津波清	豊平尚子	仲里邦彦	永田シゲ子
	仲西盛光	比嘉勝昭	比嘉鉦由	宮城迅
	銘苅嘉市	与那原良明		

文化部門 6名 1団体	石川直也	上地尚子	玉城恵子	西原幸子
	松田義雄	山入端直美		
特定非営利活動法人うらおそい歴史ガイド友の会				

産業部門 13名	安里邦夫	石原昌重	我喜屋元彦	喜名景太
	儀間恒雄	許田正博	具志堅全正	玉城芳信
	西村聰	濱元貞雄	比嘉広明	普天間初子
	屋良学			

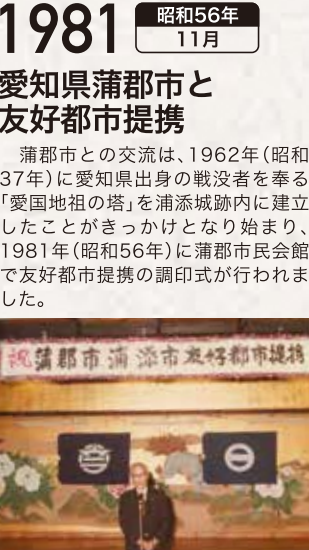
社会福祉部門 47名 13団体	栗國江美子	安里和子	伊佐啓子	石川君子
	石川晴美	石川吉信	稲福英子	上原修
	上原常子	上間幸枝	大城初美	大田ひろ子
	岡田ひろ子	奥田忍	翁長妙子	親富祖正市
	川満峰子	儀保博信	金城栄子	金城節子
	佐久川清美	島袋信雄	島袋昌枝	島袋正子
	下地典子	城間敏雄	末吉充子	楚南幸子
	平良光子	棚原利栄子	田場幸子	玉城初子
	當眞信子	當間美千代	渡久川智子	中曽根米子
	西原百合子	花城てる子	外間ヒサ子	前田千恵子
	又吉京子	松下泰助	宮城實	宮城むつみ
	宮城洋一	銘苅よし子	森田茂	

特定非営利活動法人あひるの会	浦添市更生保護女性会
一般社団法人 浦添市身体障がい者福祉協会	浦添市女性団体連絡協議会
浦添市福祉ボランティア「ていーだの会」	浦添市法人保育園連絡協議会
浦添中学校区支援ボランティアゆんたく会	沖縄県車いすサッカー協会
ガールスカウト沖縄県連盟 沖縄1団	中部南保護区保護司会 浦添市支部
要約筆記サークル「いろは」	朗読会「道」
NPO法人手話ダンスYOU&I 沖縄手話ダンスさくらんぼ	

當間榮安	有限会社グシケン商事
シンバホールディングス株式会社	株式会社大成ホーム
琉球セメント株式会社	



1970 「浦添市」誕生
昭和45年 7月
初代市長に又吉盛一氏就任
浦添村から市制へと移行し「浦添市」が誕生。
当時の人口は4万2911人でした。(1970年6月末時点)



1981 愛知県蒲郡市と 友好都市提携
昭和56年 11月
蒲郡市との交流は、1962年(昭和37年)に愛知県出身の戦没者を奉る「愛国地祖の塔」を浦添城跡内に建立したことがきっかけとなり始まり、1981年(昭和56年)に蒲郡市市民会館で友好都市提携の調印式が行われました。



1983 浦添市クリーンセンター落成
昭和58年 1月
浦添市のごみ処理施設として建設されました。



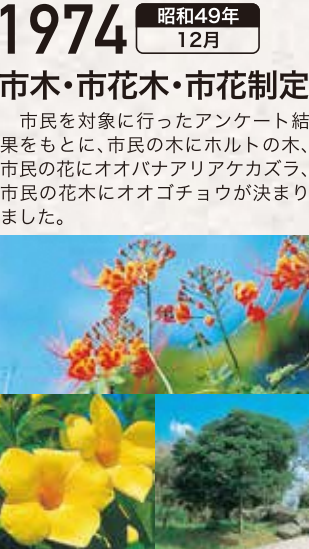
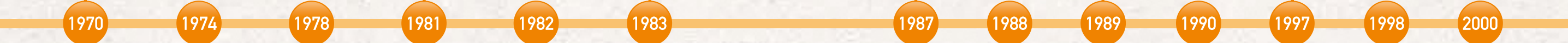
1987 市民体育館落成
昭和62年 5月
1987年10月開催の海邦国体に合わせて落成しました。



1989 浦添城跡 国史跡に指定
平成元年 8月
初期琉球王国の歴史・文化を理解する上で重要なグスク(城)であるとして、国指定史跡となりました。



1997 浦添市役所庁舎行政棟落成
平成9年 7月
周辺環境との調和と景観に配慮し、21世紀の市発展のシンボルとして市民に親しまれる庁舎を目指して建てられました。



1974 市木・市花木・市花制定
昭和49年 12月
市民を対象に行ったアンケート結果をもとに、市民の木にホルトの木、市民の花にオオバナアリアケカズラ、市民の花木にオオゴショウが決まりました。



1978 第1回浦添でだこまつり開催
昭和53年 11月
「でだこまつり」の名は、浦添の地で誕生したといわれる琉球国王英祖の神号「英祖日子(えそのでだこ)」にちなんだものです。「浦添市民のまとまりを作っていく」という目的で、毎年開催されています。



1982 浦添市民憲章
昭和57年 12月
市民意識の高揚と連携を培い、全市民が「住みたいまち」、「住みよいまち」、「住んでよかったまち」を創造するための生活信条が制定されました。



1988 中国泉州市と 友好都市締結
昭和63年 9月
1981年(昭和56年)に浦添市が「中国進貢使路の旅」として学術文化調査団を派遣したことをきっかけとし、琉球と中国が公的に交流を開始した「ゆかりの地」として、友好都市を締結しました。



1990 浦添市美術館開館
平成2年 2月
日本初の漆芸専門美術館・沖縄初の公立美術館として誕生しました。収蔵品をはじめとする漆芸品の調査研究も行っています。



1998 浦添市 人口10万人達成
平成10年 1月
10万人目の市民はとある夫婦のもとに生まれた初めての赤ちゃんでした。



2000 東京ヤクルトスワローズ キャンプイン
平成12年 2月
アメリカ・アリゾナ州ユマからキャンプ地を移し、以降毎年浦添市民球場及びその周辺施設で1軍キャンプが行われています。

- 1970年**(昭和45年)
7月 浦添市、市制施行(村から市へ)
初代市長に又吉盛一氏就任
- 1971年**(昭和46年)
4月 浦城小学校開校
10月 牧港保育所開所
- 1972年**(昭和47年)
4月 仲西幼稚園開園
神森中学校開校
8月 内間保育所完成
- 1973年**(昭和48年)
4月 牧港小学校開校
浦添市福祉事務所設置
- 1974年**(昭和49年)
5月 経塚調理場開設
7月 市民会館落成

- 10月 大平保育所開所
母子寮開所
- 11月 市歌・市民音頭制定
12月 市木・市花木・市花制定
- 1975年**(昭和50年)
4月 浦城幼稚園開園
浦添幼稚園開園
- 6月 小湾保育所開所
- 1976年**(昭和51年)
4月 牧港幼稚園開園
当山小学校開校
浦添小学校西原分校廃校
- 9月 市基本構想策定
- 1977年**(昭和52年)
4月 当山幼稚園開園
内間小学校開校

- 9月 水道部庁舎完成
- 1978年**(昭和53年)
4月 内間幼稚園開園
11月 第1回浦添でだこまつり開催
- 1979年**(昭和54年)
4月 中央公民館開館
老人福祉センター開設
- 1980年**(昭和55年)
3月 港川小学校開校
港川幼稚園開園
市人口7万人達成
- 6月 消防牧港出張所完成
11月 第4代市長に比嘉昇氏就任(第4～7代市長)
- 1981年**(昭和56年)
11月 愛知県蒲郡市と友好都市締結

- 1982年**(昭和57年)
4月 宮城小学校開校
沢岨小学校開校
沢岨幼稚園開園
- 12月 浦添市民憲章制定
- 1983年**(昭和58年)
1月 市クリーンセンター完成
3月 宮城幼稚園開園
- 1984年**(昭和59年)
2月 住居表示制開始
3月 当山の石畳道
市の文化財に指定
- 4月 港川中学校開校
6月 市社会福祉センター落成
- 1985年**(昭和60年)
3月 市人口8万人達成

- 若草児童センター開所
- 4月 浦添警察署開署
JICA沖縄国際センター落成
市立図書館開館
- 1986年**(昭和61年)
3月 浦添市平和都市宣言
7月 車エビ養殖場完成
- 1987年**(昭和62年)
4月 青少年センター開所
5月 市民体育館落成
10月 海邦国体開催
- 1988年**(昭和63年)
4月 前田小学校開校
前田幼稚園開園
浦添市立教育研究所設置
- 9月 中国泉州市と友好都市締結

- 1989年**(平成元年)
3月 印鑑登録オンライン処理開始
4月 内間児童センター開所
6月 保健相談センター開所
8月 浦添城跡 国史跡に指定
- 1990年**(平成2年)
2月 美術館開館
11月 人口9万人達成
- 1991年**(平成3年)
4月 浦添商工会議所が開所
浦添市在宅介護
支援センター開所
- 1992年**(平成4年)
4月 浦西中学校開校
西原児童センター開所
5月 ごみ4分別収集開始

- 1993年**(平成5年)
1月 第8代市長に宜保成幸氏就任
3月 消防本部庁舎開所
8月 浦添市ハーモニーセンター落成
9月 浦添共同調理場開設
- 1994年**(平成6年)
2月 第1回浦添市生涯学習まつり開催
- 1995年**(平成7年)
1月 ゴみの有料化実施
8月 玉城朝薫の墓市の文化財に指定
- 1996年**(平成8年)
3月 浦添市民球場落成
4月 経塚児童センター開所
- 1997年**(平成9年)
1月 第9代市長に宮城健一氏就任
7月 市役所庁舎行政棟落成

- 1998年**(平成10年)
1月 市人口10万人達成
- 1999年**(平成11年)
2月 浦添市議会棟完成
4月 浦添市リサイクルプラザ
ドリーム21稼動開始
地域福祉センター開所
- 2000年**(平成12年)
1月 消防内間出張所開所
2月 東京ヤクルトスワローズ
キャンプイン
- 2001年**(平成13年)
2月 第10代市長に儀間光男氏就任
8月 広報うらそえ500号発刊

2002 平成14年
2月
第1回
てだこウォーク開催

浦添市内の魅力的なスポットを巡るウォーキングイベントとして始まりました。



2008 平成20年
10月
てだこ市民大学開学

浦添市のまちづくりに役立つ人材育成と市民本位のまちづくり生涯学習の実現を目的として開設されました。

2008 平成20年
11月
子どものまち
てだこ宣言

小・中・高校生で構成された、子ども作業部会の子供達だけで作り上げました。



2012 平成24年
7月
浦添市特産品
「てだ桑茶」発売開始

「シマグワ」を100%使用し、添加物などは一切加えずに作った、からだに優しい「浦添てだ桑茶」が誕生しました。

2016 平成28年
4月
第1回
うらそえ産業まつり

第8回沖縄国際映画祭の開催に合わせて、うらそえ初の産業まつりが行われました。



2017 平成29年
1月1日
レインボー都市
うらそえ宣言

性の多様性を認め合うまちを目指し「レインボー都市うらそえ宣言」を行いました。



2018 平成30年
3月
沖縄西海岸道路及び
那覇港臨港道路開通式

この道路開通によって、国道58号線の渋滞緩和や那覇空港と県内各拠点とのアクセス向上に寄与しています。

2004 平成16年
1月
浦添市ハンドボール
王国都市宣言

浦添市で普及・発展が進んでいるハンドボールを通じて、青少年と市民に夢と希望を与え明るく活力に満ちた浦添市を築いていくために宣言されました。



2004 平成16年
1月
国立劇場おきなわ開場

全国で5番目に開場した国立劇場で、沖縄伝統芸能の保存振興を図ることを主な目的としています。

2011 平成23年
5月
浦添市養蚕絹織物施設
サン・シルク完成

ひとつづくり「まちづくり」「ものづくり」をコンセプトに、浦添の新しい「地域ブランド」を確立するため、養蚕業・絹織物業の振興と情報発信の拠点としてオープンしました。



2019 令和元年
5月
浦添城跡など
日本遺産認定

沖縄県のストーリー「琉球王国時代から連綿と続く沖縄の伝統的な『琉球料理』と『泡盛』そして『芸能』と、ストーリーを構成する文化財29件が県内で初めて日本遺産に認定されました。

2019 令和元年
10月
浦添市モノレール
延長開業

沖縄都市モノレール浦添延長区間が開業しました。延長区間は那覇市首里駅と浦添市てだこ浦西駅を結び4.1kmで、新たに4駅が新設されました。



2020 令和2年
7月1日
浦添市市制施行50周年

浦添市は7月1日で50周年を迎えました。500日カウントダウンには多くの方にご協力いただきました。

- 2002年** (平成14年)
- 1月 宮城ヶ原児童センター・宮城ヶ原保育所開所
 - 2月 第1回てだこウォーク開催
 - 3月 いなんせ斎苑供用開始
 - 4月 市文化財に指定
 - 5月 メディカルインフォメーションセンター開所
 - 6月 排ガス高度処理・溶融施設供用開始
- 2003年** (平成15年)
- 1月 消防本部訓練供用開始
 - 3月 港川共同調理場開設
 - 4月 まちなと児童センター開所

- 2004年** (平成16年)
- 1月 浦添市ハンドボール王国都市宣言
 - 2月 国立劇場おきなわ開場
 - 3月 浦城っ子児童センター開所
 - 4月 地域保険福祉センター設置
 - 5月 「英語特区」の認定を受ける。
 - 6月 浦添市相撲場完成
 - 7月 市産業振興センター
 - 8月 「結の街」供用開始
 - 9月 玉城朝薫の墓、ようどれ修復完了
 - 10月 浦添市在宅介護支援センター開所
- 2005年** (平成17年)
- 1月 浦添市相撲場完成
 - 2月 市産業振興センター
 - 3月 「結の街」供用開始
 - 4月 玉城朝薫の墓、ようどれ修復完了
 - 5月 浦添市在宅介護支援センター開所
 - 6月 浦添グスクようどれ館開館
 - 7月 市かりゆしセンター完成
 - 8月 母子生活支援施設浦和寮落成

- 2006年** (平成18年)
- 1月 市地域包括支援センター開所
 - 2月 市地域包括支援センター開所
 - 3月 中央公民館分館開館
 - 4月 市ファミリーサポートセンター開所
 - 5月 神森幼稚園・森の子児童センター複合施設開所
 - 6月 市障がい児放課後児童健全育成施設「ひまわり学童」開所
 - 7月 海ぶどう養殖場落成
 - 8月 市地域職業相談室開所
 - 9月 「絹織物織子育成事業」(うらそえ織)開始
 - 10月 市立図書館が文部科学大臣表彰
- 2007年** (平成19年)
- 1月 宮城っ子児童センター開所
 - 2月 消防緊急通信指令システム運用開始
 - 3月 前田ユブシが児童センター開所
 - 4月 那覇港浦添ふ頭地区公有水面

- 2008年** (平成20年)
- 1月 地域包括支援センター開所
 - 2月 浦添中・浦西中開館
 - 3月 てだこ市民大学開学
 - 4月 市人口11万人達成
 - 5月 子どものまちてだこ宣言
- 2009年** (平成21年)
- 1月 県内初の全国瞬時警報システムJ-ALERT運用開始
 - 2月 市立図書館が文部科学大臣表彰
- 2010年** (平成22年)
- 1月 宮城っ子児童センター開所
 - 2月 消防緊急通信指令システム運用開始
 - 3月 前田ユブシが児童センター開所
 - 4月 那覇港浦添ふ頭地区公有水面

- 2011年** (平成23年)
- 1月 埋立事業「第1ステージ」完成、西洲3丁目が誕生
 - 2月 「輝くてだこ市民賞」創設
 - 3月 浦添市立教育研究所落成
 - 4月 浦添市養蚕絹織物施設サン・シルク完成
 - 5月 愛知県蒲郡市と「災害時の情報発信に関する応援協定」を締結
 - 6月 浦添御殿の墓、整備完了
 - 7月 市水道通水50周年
 - 8月 浦添市特産品「てだ桑茶」発売開始
 - 9月 中頭方西海道及び
 - 10月 普天満参詣道が国指跡に指定
 - 11月 第13代市長に松本哲治氏就任

- 2012年** (平成24年)
- 1月 埋立事業「第1ステージ」完成、西洲3丁目が誕生
 - 2月 「輝くてだこ市民賞」創設
 - 3月 浦添市立教育研究所落成
 - 4月 浦添市養蚕絹織物施設サン・シルク完成
 - 5月 愛知県蒲郡市と「災害時の情報発信に関する応援協定」を締結
 - 6月 浦添御殿の墓、整備完了
 - 7月 市水道通水50周年
 - 8月 浦添市特産品「てだ桑茶」発売開始
 - 9月 中頭方西海道及び
 - 10月 普天満参詣道が国指跡に指定
 - 11月 第13代市長に松本哲治氏就任
- 2013年** (平成25年)
- 1月 埋立事業「第1ステージ」完成、西洲3丁目が誕生
 - 2月 「輝くてだこ市民賞」創設
 - 3月 浦添市立教育研究所落成
 - 4月 浦添市養蚕絹織物施設サン・シルク完成
 - 5月 愛知県蒲郡市と「災害時の情報発信に関する応援協定」を締結
 - 6月 浦添御殿の墓、整備完了
 - 7月 市水道通水50周年
 - 8月 浦添市特産品「てだ桑茶」発売開始
 - 9月 中頭方西海道及び
 - 10月 普天満参詣道が国指跡に指定
 - 11月 第13代市長に松本哲治氏就任

- 2014年** (平成26年)
- 1月 埋立事業「第1ステージ」完成、西洲3丁目が誕生
 - 2月 「輝くてだこ市民賞」創設
 - 3月 浦添市立教育研究所落成
 - 4月 浦添市養蚕絹織物施設サン・シルク完成
 - 5月 愛知県蒲郡市と「災害時の情報発信に関する応援協定」を締結
 - 6月 浦添御殿の墓、整備完了
 - 7月 市水道通水50周年
 - 8月 浦添市特産品「てだ桑茶」発売開始
 - 9月 中頭方西海道及び
 - 10月 普天満参詣道が国指跡に指定
 - 11月 第13代市長に松本哲治氏就任
- 2015年** (平成27年)
- 1月 埋立事業「第1ステージ」完成、西洲3丁目が誕生
 - 2月 「輝くてだこ市民賞」創設
 - 3月 浦添市立教育研究所落成
 - 4月 浦添市養蚕絹織物施設サン・シルク完成
 - 5月 愛知県蒲郡市と「災害時の情報発信に関する応援協定」を締結
 - 6月 浦添御殿の墓、整備完了
 - 7月 市水道通水50周年
 - 8月 浦添市特産品「てだ桑茶」発売開始
 - 9月 中頭方西海道及び
 - 10月 普天満参詣道が国指跡に指定
 - 11月 第13代市長に松本哲治氏就任
- 2016年** (平成28年)
- 1月 埋立事業「第1ステージ」完成、西洲3丁目が誕生
 - 2月 「輝くてだこ市民賞」創設
 - 3月 浦添市立教育研究所落成
 - 4月 浦添市養蚕絹織物施設サン・シルク完成
 - 5月 愛知県蒲郡市と「災害時の情報発信に関する応援協定」を締結
 - 6月 浦添御殿の墓、整備完了
 - 7月 市水道通水50周年
 - 8月 浦添市特産品「てだ桑茶」発売開始
 - 9月 中頭方西海道及び
 - 10月 普天満参詣道が国指跡に指定
 - 11月 第13代市長に松本哲治氏就任
- 2017年** (平成29年)
- 1月 埋立事業「第1ステージ」完成、西洲3丁目が誕生
 - 2月 「輝くてだこ市民賞」創設
 - 3月 浦添市立教育研究所落成
 - 4月 浦添市養蚕絹織物施設サン・シルク完成
 - 5月 愛知県蒲郡市と「災害時の情報発信に関する応援協定」を締結
 - 6月 浦添御殿の墓、整備完了
 - 7月 市水道通水50周年
 - 8月 浦添市特産品「てだ桑茶」発売開始
 - 9月 中頭方西海道及び
 - 10月 普天満参詣道が国指跡に指定
 - 11月 第13代市長に松本哲治氏就任
- 2018年** (平成30年)
- 1月 埋立事業「第1ステージ」完成、西洲3丁目が誕生
 - 2月 「輝くてだこ市民賞」創設
 - 3月 浦添市立教育研究所落成
 - 4月 浦添市養蚕絹織物施設サン・シルク完成
 - 5月 愛知県蒲郡市と「災害時の情報発信に関する応援協定」を締結
 - 6月 浦添御殿の墓、整備完了
 - 7月 市水道通水50周年
 - 8月 浦添市特産品「てだ桑茶」発売開始
 - 9月 中頭方西海道及び
 - 10月 普天満参詣道が国指跡に指定
 - 11月 第13代市長に松本哲治氏就任
- 2019年** (令和元年)
- 1月 埋立事業「第1ステージ」完成、西洲3丁目が誕生
 - 2月 「輝くてだこ市民賞」創設
 - 3月 浦添市立教育研究所落成
 - 4月 浦添市養蚕絹織物施設サン・シルク完成
 - 5月 愛知県蒲郡市と「災害時の情報発信に関する応援協定」を締結
 - 6月 浦添御殿の墓、整備完了
 - 7月 市水道通水50周年
 - 8月 浦添市特産品「てだ桑茶」発売開始
 - 9月 中頭方西海道及び
 - 10月 普天満参詣道が国指跡に指定
 - 11月 第13代市長に松本哲治氏就任
- 2020年** (令和2年)
- 1月 埋立事業「第1ステージ」完成、西洲3丁目が誕生
 - 2月 「輝くてだこ市民賞」創設
 - 3月 浦添市立教育研究所落成
 - 4月 浦添市養蚕絹織物施設サン・シルク完成
 - 5月 愛知県蒲郡市と「災害時の情報発信に関する応援協定」を締結
 - 6月 浦添御殿の墓、整備完了
 - 7月 市水道通水50周年
 - 8月 浦添市特産品「てだ桑茶」発売開始
 - 9月 中頭方西海道及び
 - 10月 普天満参詣道が国指跡に指定
 - 11月 第13代市長に松本哲治氏就任

- 2020年** (令和2年)
- 1月 埋立事業「第1ステージ」完成、西洲3丁目が誕生
 - 2月 「輝くてだこ市民賞」創設
 - 3月 浦添市立教育研究所落成
 - 4月 浦添市養蚕絹織物施設サン・シルク完成
 - 5月 愛知県蒲郡市と「災害時の情報発信に関する応援協定」を締結
 - 6月 浦添御殿の墓、整備完了
 - 7月 市水道通水50周年
 - 8月 浦添市特産品「てだ桑茶」発売開始
 - 9月 中頭方西海道及び
 - 10月 普天満参詣道が国指跡に指定
 - 11月 第13代市長に松本哲治氏就任
- 2021年** (令和3年)
- 1月 埋立事業「第1ステージ」完成、西洲3丁目が誕生
 - 2月 「輝くてだこ市民賞」創設
 - 3月 浦添市立教育研究所落成
 - 4月 浦添市養蚕絹織物施設サン・シルク完成
 - 5月 愛知県蒲郡市と「災害時の情報発信に関する応援協定」を締結
 - 6月 浦添御殿の墓、整備完了
 - 7月 市水道通水50周年
 - 8月 浦添市特産品「てだ桑茶」発売開始
 - 9月 中頭方西海道及び
 - 10月 普天満参詣道が国指跡に指定
 - 11月 第13代市長に松本哲治氏就任



50周年記念企画

てだこ美人図鑑

市の公式行事を通して、浦添の魅力を伝えてきた歴代のてだこ美人達を紹介します。



当時、参加者たちは様々な衣装でコンテストに臨みました。

第1回てだこまつりのプログラムで第1回「ミスてだこコンテスト」が行われました。

第26回から、時代の流れと個性豊かな幅広い人材を確保するため、未婚条件や年齢制限を撤廃し、名称も「ミスてだこ」から「てだこレディ」となりました。

インタビュー 2010年てだこレディ 国吉仁美さん



レディに選ばれてからはマナーや立ち方、ウォーキングの仕方、浦添市についての研修が丸一日あって、それから衣装をいただいて、てだこまつりでお披露目という流れでした。

やりがいというか、浦添市のPRが上手くできた時は「よっしゃ!」と心の中で思っていました。(笑)

業務のなかでは、東松山市で日本一のウォーキング大会があるのですが、そこにてだこウォークのPRで行ったのは、県外出張ということもあって印象に残っています。あと、ヤクルトの青木選手が大リーグに行く前にお会いしたことがあり、こちらも印象深い思い出です。

当時の一緒にレディになった方とは今でも交流が続いています。私にとって、てだこレディ時代はとても楽しく、いい経験・思い出になっています。



ファッションチェック

てだこレディの制服は、オオハナアリアケカズラの黄色をモチーフに、その年のレディに合うよう毎回違うデザインになっています。



2003年 ▶ 2010年 ▶ 2018年



▲第2回コンテスト優勝者



▲このような衣装での参加も…。豪華景品もありました。▶



▲素敵な笑顔のレディたち

現在のてだこレディ

これからも浦添のために頑張ります!



次の50年、 主役は子どもたちだ。

50周年の節目にふと立ち止まって考えました。

「50年後の浦添市って、どんな風になっているのだろう?」

「50年後、どんな街にしたい?」

その頃の世界を動かしているのは、今の子ども達です。

今回の50周年記念事業は大人だけでなく、

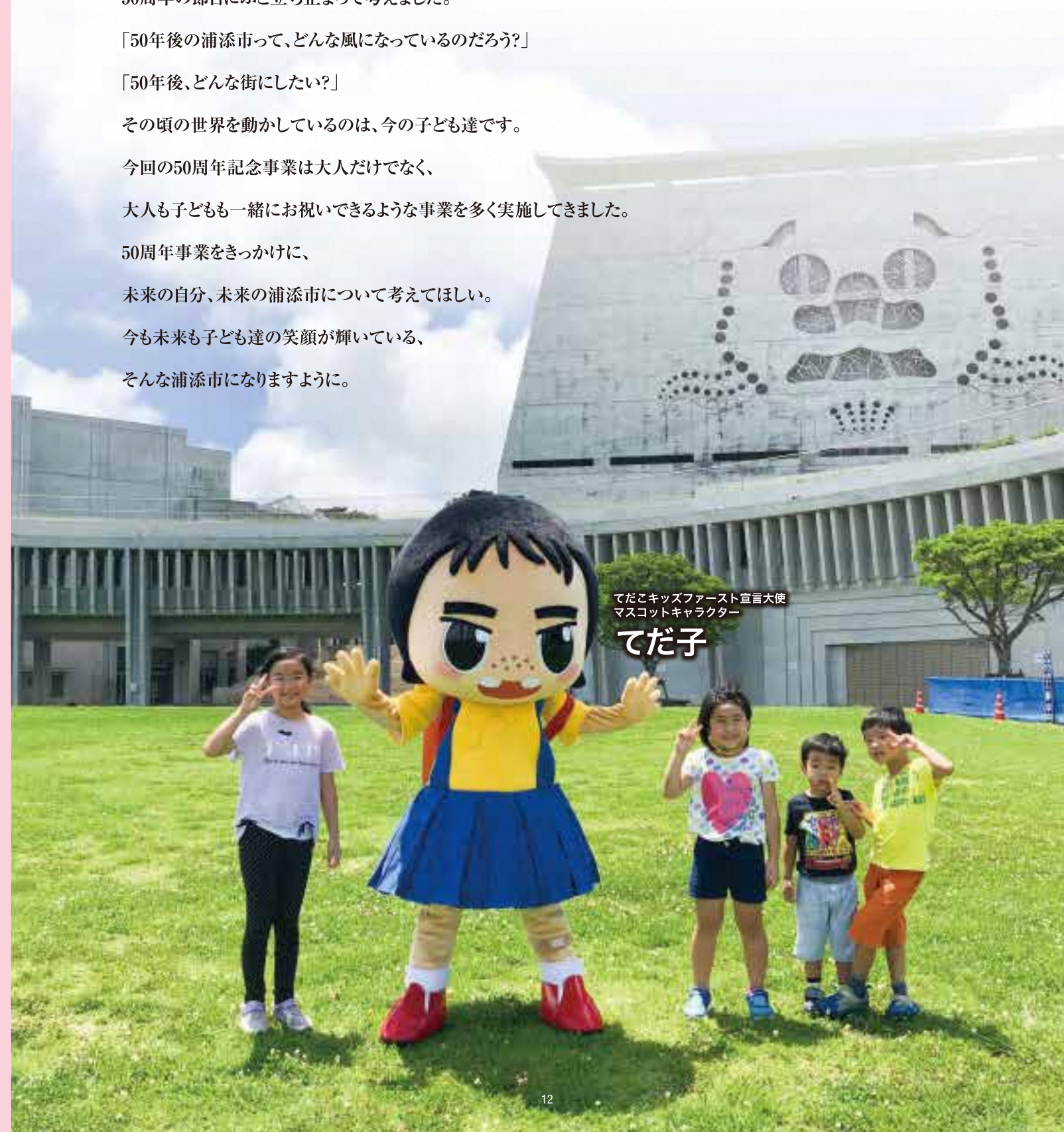
大人も子どもも一緒にお祝いできるような事業を多く実施してきました。

50周年事業をきっかけに、

未来の自分、未来の浦添市について考えてほしい。

今も未来も子ども達の笑顔が輝いている、

そんな浦添市になりますように。



てだこキッズファースト宣言大使
マスコットキャラクター

てだ子

未来に向かって みんなで50(GO)!

浦添市50周年事業のテーマは「協働」。
多くの市民のみなさんと共に祝いたくて、
たくさんのイベントを行いました。



50周年事業一覧

- 次世代人材育成道場
 - 広報写真デジタル化事業
 - 浦添市立小中学校ジャンボ壁画制作
 - 図書館利用カードデザインイラスト公募
 - うらそえ みずまつり
 - 未来の学びを考える映画上映会
 - 子コミュニティバス＆モノレールPR事業
 - てだこキッズファースト・ファイヤーフェスタ
 - 松本清張賞受賞作家(滝沢志郎氏・川越宗一氏)
と上里館長のトークショー
 - うらそえ発掘!「50年展-掘り出された浦添の歴史-」
 - つば九郎一日市長(鳥)就任
 - 50周年記念映像制作ワークショップ
 - 50周年記念ナンバープレート交付
 - 広報写真パネル展
 - 起業家PRラジオ番組「スタートアップ浦添」
 - 浦添市50周年＆ラジオ沖縄60周年コラボ公開放送
 - 没後400年記念「尚寧王展」
- (順不同)

コラボ事業

浦添市×名護市＝PR効果∞(無限大!)

コラボテーマは **協 奏** **市民参加型** **交流人口増加**

浦添市と名護市は同じ年に誕生し、今年50周年を迎えます。
コラボすればPR効果は無限大! 両市は全国的にも珍しいコラボで
様々な50周年イベントを実施してきました。



- 第55回沖縄県身体障がい者スポーツ大会
 - 還暦野球試合
 - バレーボール交流試合
 - 名護・やんばるツーデーマーチ
 - 第1回久辺テクノフェスタ杯
ロボットプログラミングサッカー大会
 - 移動図書館 名護市「がじまる号」×浦添市「としよまる号」同時公開
 - 羽地米販売会in浦添市
 - 浦添地場産品販売in名護市
 - 子どもオーケストラ鑑賞と桜植え体験in名護
 - てだこウォーク
 - キャンプ到来! つば九郎市鳥と桜を植えようin浦添
- (順不同)

次世代人材育成道場



プログラミングによるモノづくりをとおして小中学生の学ぶ意欲を喚起し、次世代を担う人材育成を図っています。なんと民間団体が無報酬で児童生徒を指導しているという、新たな官民連携の事業でもあります。

担当者コメント



情報政策課
大 城 和 輝

参加している子ども達の意欲と情熱には毎回びっくりさせられます。そういう子ども達が、これからの浦添を、日本を、果ては世界を作っていくと考えると、どのような未来になるか、今から楽しみでなりません。そのような子どもたちの力に、少しでもなれたら良いな、と考えながら、事業を行っています。

50周年記念映像制作ワークショップ



映像制作の全行程を中高生が行う初めての試みです。専門講師の指導の下、ワークショップ形式で取り組みました。「浦添の未来」に真剣に向き合い、考え、中高生目線で同世代の子ども達や大人たちに伝えたいことを映像にしています。

担当者コメント



企画課
國 仲 綾

監督は高校生、脚本原案は中学生、撮影・編集全て生徒が行っています。ワークショップの回を重ねるごとに成長していく姿に、子ども達の可能性を大いに感じました。「空蟬(うつせみ)のカメラ」11月にホームページ等で公開予定です。ぜひご覧ください。

桜植え体験(こども交流)



親子で行うコラボ事業として、浦添・名護それぞれで桜の植樹を行い、両市民が親睦を深めました。名護市ではオーケストラ体験、浦添市では城跡巡りも行いました。

担当者コメント



こども政策課
古 堅 智 子

「桜植え体験を通して、子ども達が成長してほしい。植えた後も、その子ども達と桜の成長を地域で見守り、大切に育ててほしい。」そんな想いをこめた企画でした。皆さんのご協力に感謝です!

浦添市立小中学校ジャンボ壁画制作



「未来の浦添市」をテーマに一人一人が、思いを込めてちぎり絵で「ジャンボ壁画」制作しました。それぞれの学校で、子どもたちが主体的に計画を立て、市内全小中学校の全児童・生徒が心をひとつに取り組みました。完成した壁画は大型パネルにして市庁舎、学校、図書館でも展示されました。

担当者コメント



学校教育課
金 城 克 己

クラスメイトと50年後の自分、浦添市の姿を語り合い、明るく楽しい未来を創る人材に育てて欲しいと思い企画しました。やがて浦添市が100歳を迎えた時、子や孫と壁画作成の話題で盛り上がり、更に嬉しいです。

